



ミュンヘン便り ～自転車通勤～

真夏でも30度を超える日は滅多にないミュンヘンでは、春から秋にかけて天気のいい日は戸外で過ごすのが実に快適です。定時で仕事が終わる会社勤めの人たちは、4時から5時の間に会社を出て、仕事の後の自由時間を外で存分に楽しみます。森の中をジョギングしたり、イングリッシュガーデンで夕方の日差しを浴びながら芝生の上で寝ころんだり、イザール川沿いを自転車で走ったり、バーベキューをしたり、川や湖で泳いだり、楽しみ方は色々です。特に好まれるのは、仕事の後、戸外でスポーツをするパターンです。

夏でも天気の変化が激しいミュンヘン。雲一つなく30度近くまで気温が上がる夏日の日は、激しい雷雨に見舞われ、最高気温は20度未満、最低気温は10度を切り、人々が一斉に長袖、ブーツ、コートを着用する日もあったりします。ですから運良く週末が夏日に

なれば、みんな嬉しくて家の中にとどまってしまうなどいられません。いそいそと外に出て、川や公園、湖、山などで日光を存分に浴び、新鮮な空気を吸いこみ、夏を満喫しようとしません。

し・か・し・上記の優雅な生活は特許業界以外の人たちのこと。我々の業界ではそうはいきません。土日の少なくともどちらかは、少なくとも家で、最悪の場合は事務所で、期限物の案件に追われながら仕事をするのです。日差しが輝く町を横目で見ながら、いえ、見て見ぬふりをしながら。まして、平日の夕方、仕事の後に日差しを楽しむ時間も戸外でスポーツをする時間もあるはずがありません。これでは運動不足になってしまいますね。

ミュンヘンで運動不足を手っ取り早く解消する方法が自転車通勤。高低差が少なく、地形が比較的平らなミュンヘンでは、多くの人が通勤と運動とを兼ねて自転車通勤を楽しんでいます。数人の同僚も自転車通勤です。私も毎日ではありませんが、自転車通勤する 때가あります。今日は私の自転車通勤路をご紹介します。



私はNockerberg（ノッカー山）と呼ばれる丘の上に住んでいます。この丘は

写真のようにミュンヘン市内を一望する見晴らしの良い丘です。冬の夕方は、写真ではこんもりと茂っている木々の葉が全て落ち、梢越しにすばらしい夕日が沈むのを見ることができます。その時期には、おなじみのEPO及びドイツ博物館が川沿いにたたずんでいるのも、この丘から見ることができます。この丘をイザール川に向かって下っていきます。丘と川との間の高低差のために、ルートによっては坂道があります。写真では大した坂道にも見えませんが、実際はかなり勾配があります。事務所に行くときは下りなので楽勝ですが、帰りはほどよい運動をする羽目になります。私は21段変速の半マウンテンバイクに乗っていますが、7番目に軽いギアでかろうじて登りきることができます。気分はまるでツールドフランスの山岳ステージです。

丘を下りきり、川沿いの平らで快適な道を北へ向かって15分ほど走ると事務所です。川沿いの道には写真でお見せしているように大きな木が豊かに茂り、夏は気持ちのいい木陰を作っていて、日焼けの心配もなく、日本ではさしずめ上高地の梓川沿いを自転車で走っているような気分です。さすがに上高地ほどの壮大な山はミュンヘン市内にはありま



せんが。川沿いの道は、自転車で走る人やジョギングする人、犬を連れて散歩する人、ベビーカーを押す人などでほどよくにぎわっています。天気の良い日は、日光浴をする半裸の人々で川岸が埋め尽くされます。川には鴨が常駐し、季節によってはオシドリや普段見かけない種類の水鳥も登場し、私たちの目を楽しませてくれます。天気の良い日に川沿いを自転車で走っていると、通勤中でありながら運動不足の解消とリフレッシュとを両立できるこのミュンヘン環境の素晴らしさにほれほれます。皆様もミュンヘンにいらっしゃったら是非、ミュンヘン市民の憩いの場所であるイザール川沿いを自転車で走ってみてください。EPOの本部とリラックスしたミュンヘン市民達との両方を見ることができますよ！



筆者紹介

稲積 朋子 (いなづみ ともこ)

平成6年弁理士試験合格。現在、新樹グローバル・アイビー特許業務法人及びGIP Europe Corp.所属。

1997年、新樹グローバル・アイビー特許業務法人入所し、主に国内外の出願及び権利化業務を担当。2007年11月より、ミュンヘンの現地提携事務所に駐在。2009年1月、GIP Europe (GIPグループミュンヘンオフィス) 設立。日本企業からのヨーロッパ出願・中間処理・異議申立・侵害品ウォッチングや、ヨーロッパ企業からの日本出願・中間処理業務を行う。

趣味は、山登り、ぼーっとすること、寝ること、健康づくりに励むこと。